こどもたちの心身の健やかな成長を育み
地域に根ざした保育所

厚岸町立しんりゅう保育所

真竜保育所と宮園保育所を統合した新しい『しんりゅう保育所』が完成し、７月13日から児童が通っています。

町内の３つの認可保育所のうち、統合前の真竜保育所は初代の施設が昭和27年５月に開所し、現在の施設は２代目の保育所で昭和48年７月に開所しました。宮園保育所は昭和56年４月に開所しましたが、いずれの保育所も施設が老朽化し、調査の結果、耐震性に適合せず、さらに津波の浸水予測区域内にあることから、児童の安全確保のため、両保育所の整備が大きな課題となっていました。

平成27年と28年に各保育所の保護者と懇談会を開催し「人口と出生数の減少から２つの保育所を統合することはやむを得ない」「整備場所についても、ほぼ自家用車による送迎のため特にこだわらない」との意見から、津波による避難も想定したうえで、指定避難場所（旧真龍中学校裏山）に隣接する現在地へ統合による整備を決定しました。

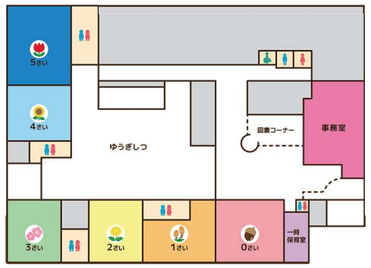
名称については、湖北地区の小学校と中学校にならい、歴史ある『真竜』を使用し、子ども達がわかりやすいように『しんりゅう保育所』としました。入所児童は０歳から５歳までの定員120人の施設となっています。

厚岸町立しんりゅう保育所

住　　所	厚岸町宮園３丁目11番地
敷地面積	5,221.84平方メートル
建築面積	1,923.07平方メートル
延床面積	1,738.28平方メートル
主な施設	保育室６室、一時保育室、遊戯室、図書コーナー、サンルーム、事務室、調理室、更衣室、トイレ

しんりゅう保育所施設紹介

ホール



保育室（０さい）

ゆうぎしつ

デン（図書コーナー）

トイレ

ボルダリング

デッキテラス

トイレ

保育室（４さい・５さい）

園庭

見える厨房